

翌檜(あすなろ)

最終号

いかがお過ごしですか？

突然の臨時休校。みなさんは、どのように日々を過ごしているでしょうか。先日、家庭での過ごし方を電話で聞かせてもらいました。「配られたプリントは終わりそうです」「毎日、山でジョギングしています」と、みなさん、それぞれの過ごし方があるようです。なかには「手伝いをさせられています」という子もいました。その子は嫌そうに言っていたましたが、先生は、まっすぐ成長してほしいという願いの伝わる素敵なお家庭だなと思いました。先生はというと、いろいろな仕事の合間に、本来残っていたはずの1か月、1の2の担任として、そして、数学の担当として、朝の会や授業で、みなさんにどんな話をしていたのだろう…と考えながら過ごすことが多いです。たぶんこんなことを話すんじゃないかな、と思うことの一部を載せて、最後の学級通信としたいと思います。



まずは数学、単元が一つ終わっていませんね。はじめに、この最後の単元を自分の力だけで予習してみましょう。みなさんが使っている数学の教科書は、自分で読んで理解できる流れを意識して作られています。誰にも教わらず、教科書を自分の力で読んで予習をしてみてください。自分で勉強するということは、けっこう楽しいものです。そして、できれば「数学の友」

にチャレンジ。力試しです。そして次は、1年間の復習です。2年生で学ぶ数学のほとんどが1年生の数学の延長上にあります。「提出物を出すことで精いっぱい」、「授業中はできるのにテストだとできない」という人こそ、復習に力を入れてください。これまでと同じ勉強の仕方では2年生になっていくと、あやふやなところが多くなり、差がひらいていきます。調べたことはありませんが、高校入試の大半が1・2年の内容だと思います。そう考えると、受験勉強はもう始まっているんですよ。最後に、1年生で使った教科書、数友などは、学校が始まったら使いますので捨てないように。

そして急にやってきた最後の日。慌ただしい1日になりました。教室に保管してあったプリントをとりあえず配り、大急ぎで今後の日程の説明をしたことを覚えています。しかし、この時はまだ、休校措置はすぐに解かれ、またいつも通りの生活が戻ってくる、1の2の子たちに向けて話すチャンスはまだある。大丈夫、大丈夫、とっていました。しかし、どうやらそうならないようです。

急にやってきた最後の日。とても盛り上がった1日でした。それは学級掲示争奪のじゃんけん大会です。体育祭の賞状、合唱コンクールの賞状、学級旗、なぜか時間割表まで大人気。みなさんが、1の2に愛着をもって1年間を過ごしてくれたんだと、こみ上げてくるものがありました。その後は、誰が始めたのか？ふれあいノートの表紙裏を使った寄せ書き大会。「先生もメッセージちょうだい！」大袈裟だなあ、と思いつつも自由に過ごしてもらいたいという気持ちが強くなりました。その光景はまるで卒業式の日のようなものでした。いいクラスだったな、と思います。



最後に1の2のみなさんへ、先生がある本で読み知った言葉「3つの幸せ」を贈ります。1つ目は「してもらって幸せ」です。みなさんはこれまで、一人で成長してきたわけではありません。ご家族に、そして友達に感謝。ここまで成長できたのは幸せなことです。2つ目は「できるようになる幸せ」です。1年前の入学式の日からできることが増えたでしょう。頭も体も心も。成長が実感できるということは、とても幸せなことです。3つ目は「してあげる幸せ」です。これは、1つ目と2つ目を他の誰かにしてあげる幸せで、もっとも幸せを感じるのだと言われていたそうです。みなさんも、何となくわかる気がしませんか。ぜひ、そういう人を目ざしてください。



楽しい時間をありがとう 森田 智洋